

「ことばのリレイションシップ!!!」

～祝福を良いことをしたければ仲良くなれ!!!～

Iヨハネ4:4～13

ある先生が器を持ってきて最初に大きなボールを上まで入れました。次に、先生は机の下から小石を出して入れ、ゆすっていっぱい入りました。次は砂で、最後にコーヒーを2杯入れました。生徒が「それぞれの意味は何ですか?」と尋ねると「一番最初の大きなボールは、あなたの人生でとても大事なものでなくてはならないのです。けれど最初に砂を入れてしまったらこの大きなボールは入りません。大きなボールは、あなたが誰に創られて、誰に愛されて、何故ここにおいて、何が大事で、あなたが何をすべきなのか、それを教えている神様の言葉です。」と答えました。先生はクリスチャンでした。別の生徒が小石の意味を聞きしました。「あなたが学校に行って勉強したり、職場に行き人と関わったり、家族と向き合ったり、小石はあなたにとってこの大きなボールとボールを繋ぐあなたの周りの人たちとの関係です」と答えました。そして「砂は日常生活の中で細々しているけれど大事なもので、よくそれを最初に入れてしまいます。でも砂を最初に入れてしまうと小石も何も入りません。最後に入れることが出来るのは液体だけです」と先生は答えました。私たちは細々したことを中心にしてしまい心が忙しくなってしまいます。だからこそ一番大切な神様との関係を大切に、人々との関係を大切に、その上であなたが大事にしている細々としたことをやるのが大切だと伝えました。「コーヒー2杯は何ですか?」と聞くと先生はこう答えました。「この3つが出来ていても心が忙しかったらダメです。コーヒーを2杯飲むような余裕が大切ですよ」実際、私たちはこのようにしてしまいがちです。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、私の所に来なさい。私があなた方を休ませてあげます。(マタイ11:28)」とイエス様は言われています。私たちは神様の充実の中でこそ安らぎを得ることが出来るのです。

①神様のことばを!!! ～神の思いをしる!!!～

まず神様の言葉を持っているということが大切です。ボールを後から入れても入らないように、神様よりも先にあなたがやっていることが優先されたら上手くいきません。小石より先にボール(神様)でいっぱいにするように言われたのです。大きなボール(神様)が入っていて、そこに小石(隣の人)が入っているからこそ意味があるのです。そして砂(細々したこと)が合わさり、最後に液体のように順番があるのです。聖書は私たちに歩むべきルールを教えてくださいますが、私たちはすぐ順番が狂い、人に向き合う前に疲れてしまい諦めてやめてしまいます。そして悪い関係のまま次のことをやろうとするのです。そうするとあなたの心にも安息がなく、相手も向き合っていないので癒されていません。細々したことだけが中心になってぶつかり合うのです。そうすると神様の言葉が入ってきても排除されてしまいます。神様は私たちにその問題に対して何かせよと言っているのではなく、それを自らがどう改めるかと考えろと言っているのです。世の中の言葉を選ばず、神様の言葉を選ぶことが大切なのです。

②愛の穴埋め!!!～愛の小石で つなぐ!!!エンセオス!!!～

神様が一番問題だと思うのは愛ではないことです。

批判と愛は違います。正しいことも強いてやれば強制です。しかし愛は歩み方が違います。以前、ある先生が『「Understand」とは=相手の下に立つ、それが分かるということです』と言われていました。相手の下に立ちその状況を分かろうとすることです。エンはギリシャ語で内にという意味でセオスは神のことです。あなたの中に神様がいます。イエス様が神の在り方を捨て遣える姿になって糞土に満ちた家畜小屋に生まれたのです。私たちはクリスチャン(イエス様の人)だと言うのですから、イエス様のようにイエス様がした方法で生きなければなりません。もし今人間関係が壊れているなら、環境が壊れた時こそ大事です。愛を持っているのは相手ではなくあなたです。相手はボールが外にあり砂しか持っていないのです。相手と向き合って、一緒に埋まった砂を出して、穴が空いている人にあなたが愛された愛で穴埋めをしてあげるのです。神様は、あなたが苦しんで戦っていることは知っているから、あなたも相手の状況や立場を分かろうとしなさいと言われているのです。その上で向き合えばちゃんと伝わるのです。

③あなたのことばが証!!! ～砂で満たしてはだめ!!!～

私たちは「忙しい、自分が辛い」と思ってしまいがちです。しかしその言葉を発していくと砂だらけの器になります。忙しい中でも知恵を求めなさいと聖書は言っています。神様は知恵・考え・必要、全ての源です。願ったものは与えられると書いてあります。だから神様に願うことが大切です。その為にあなたの言葉が絶えず証(イエス様がしてくれたことの証言者)になっていないかと思えば人には届きません。神との関係を保ち、人との関係を保つ、この両方が大切なのです。あなたの環境を良くしたければ愛するのです。相手を大切に思えば、その思いは必ず届き関係がよくなります。そして愛し合っていれば相手はあなたの願いを聞きたいと思うのです。一緒に愛を求めましょう。

まとめ

教会内で愛し合い、その愛を持って人々に愛を伝えるのが私たちの証です。世の中ではあなたにしか愛はありません。神様があなたを愛したからです。愛と相反するものを私たちから取り除かなければいけません。正義は神様だけです。正義は神様が貫かれます。私たちは神様のことばに従おうと向き合い、失敗しても回復しようとして向き合い、赦された罪人として癒されていかなければなりません。あなたもあなたの置かれた場所で戦える筈です。あなたには沢山の犠牲があるからです。その犠牲の中心はキリストの十字架です。愛する行為は犠牲ではありません。愛するとあなたは必ず満たされます。十字架の中でイエス様が言われた愛の業はこの岡山に引き継がれています。この岡山の地で流された犠牲を土台にイエス様の愛を貫いていきましょう。

(要約者:西寄芳栄)

(5月21日)